



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月12日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社タカチホ

コード番号 8225 URL <https://kk-takachiho.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 一臣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺島 千博 TEL 026-221-6677

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,320	△9.6	133	△31.7	136	△30.7	107	△29.6
2026年3月期第1四半期	2,566	24.2	195	57.9	196	58.4	152	58.5

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 117百万円 (△24.1%) 2026年3月期第1四半期 154百万円 (60.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	153.30	—
2026年3月期第1四半期	218.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	4,933	2,626	53.2	3,756.04
2026年3月期	4,455	2,579	57.9	3,688.56

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 2,626百万円 2026年3月期 2,579百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	9,300	△4.0	500	3.1	495	1.0	347	5.7	496.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	727,500株	2026年3月期	727,500株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	28,162株	2026年3月期	28,162株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	699,338株	2026年3月期1Q	695,825株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続き、内需が底堅く推移しました。

一方で、不安定な国際情勢や米国の政策動向が個人消費に及ぼす影響、原材料価格やエネルギーコスト、間接コストの上昇による物価の高騰、また観光事業においては慢性的な労働力不足と人的コストの上昇など、先行きの不透明な状況が続いております。

このような経済情勢のなかで当社グループといたしましては、「変革基盤の確立と次の成長ステージへの始動」をスローガンに掲げ、新たな価値創造と生産性向上のための人的投資、ブランド力向上と商品開発への投資による販売強化、組織力強化と業務の効率化による収益力強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,320百万円（前年同四半期比9.6%減）、営業利益は133百万円（前年同四半期比31.7%減）、経常利益は136百万円（前年同四半期比30.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は107百万円（前年同四半期比29.6%減）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、ブランド力向上と商品開発への投資による販売強化をはかり、積極的な商品展開として地域企業と連携した商品開発、IP（知的財産）を使った商品開発など新たな商品開発への取り組みを行いました。前年に開催された大阪・関西万博の特需が剥落したため、売上高は1,908百万円（前年同四半期比11.5%減）となり、営業利益は191百万円（前年同四半期比16.5%減）となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、観光需要の緩やかな増加を受け順調に推移しましたが、一部店舗の移転に伴う規模縮小により、売上高は153百万円（前年同四半期比1.4%減）となり、営業利益は2百万円（前年同四半期比73.3%減）となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、物価に連動した原材料価格上昇およびエネルギーコストの高止まりの影響分を順調に価格転嫁できましたが、前年に開催された大阪・関西万博の特需が剥落したため、売上高は57百万円（前年同四半期比22.7%減）となり、営業利益は9百万円（前年同四半期比64.3%減）となりました。

④温泉施設事業

温泉施設事業は、熱波イベントやヨガ教室を積極的に開催し来客数が順調に増加したほか、価格改定に伴う回数券販売が大きく増加し、売上高は93百万円（前年同四半期比27.9%増）となり、営業利益は18百万円（前年同四半期比289.3%増）となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。景気の拡大によりテナントの入居が安定推移しましたが、一部テナントの修繕調査を実施したことにより、賃料収入は36百万円（前年同四半期比0.2%減）となり、営業利益は12百万円（前年同四半期比4.3%減）となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、セール等の集客イベントやSNS発信による販売強化を行いました。人員体制見直しにより経費が増加したことから、売上高は61百万円（前年同四半期比4.3%増）となり、営業損益は0百万円の営業損失（前年同四半期は3百万円の営業利益）となりました。

⑦その他事業

その他事業は、飲食店の運営が含まれます。シーズン中の天候不順により来店客数が減少しましたが、オペレーションを見直したことにより、売上高は8百万円（前年同四半期比7.9%減）となり、営業損益は2百万円の営業損失（前年同四半期は3百万円の営業損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,563百万円となり、前連結会計年度末に比べ195百万円（8.3%）増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が167百万円、商品及び製品が127百万円、それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は2,369百万円となり、前連結会計年度末に比べ282百万円（13.5%）増加いたしました。これは主に有形固定資産のその他（純額）が27百万円、投資有価証券が274百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,933百万円となり、前連結会計年度末に比べ478百万円（10.7%）増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,299百万円となり、前連結会計年度末に比べ186百万円（16.8%）増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が39百万円、短期借入金が78百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,007百万円となり、前連結会計年度末に比べ244百万円（32.1%）増加いたしました。これは主に長期借入金が246百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、2,306百万円となり、前連結会計年度末に比べ431百万円（23.0%）増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,626百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円（1.8%）増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益107百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は53.24%（前連結会計年度末は57.90%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月13日開示の2026年3月期決算発表時と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,133,686	1,024,890
受取手形及び売掛金	732,462	900,448
商品及び製品	425,298	552,877
原材料及び貯蔵品	49,131	55,077
その他	28,318	30,631
貸倒引当金	△700	—
流動資産合計	2,368,197	2,563,925
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	524,713	514,511
土地	888,829	888,829
その他（純額）	164,710	192,295
有形固定資産合計	1,578,254	1,595,637
無形固定資産	141,086	138,206
投資その他の資産		
投資有価証券	80,840	355,293
敷金及び保証金	85,216	85,436
その他	210,289	204,533
貸倒引当金	△8,518	△9,363
投資その他の資産合計	367,828	635,900
固定資産合計	2,087,168	2,369,744
資産合計	4,455,365	4,933,670
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	456,504	495,831
短期借入金	257,244	336,032
未払法人税等	48,223	31,385
賞与引当金	57,298	90,579
契約負債	12,765	12,659
その他	280,643	332,619
流動負債合計	1,112,679	1,299,107
固定負債		
長期借入金	459,914	706,679
資産除去債務	98,954	99,314
その他	204,268	201,826
固定負債合計	763,137	1,007,820
負債合計	1,875,817	2,306,928

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	755,177	755,177
利益剰余金	846,965	884,238
自己株式	△55,549	△55,549
株主資本合計	2,546,593	2,583,866
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,954	42,875
その他の包括利益累計額合計	32,954	42,875
純資産合計	2,579,548	2,626,741
負債純資産合計	4,455,365	4,933,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,566,379	2,320,270
売上原価	1,796,193	1,670,480
売上総利益	770,185	649,790
販売費及び一般管理費	574,456	516,067
営業利益	195,729	133,723
営業外収益		
受取利息	14	19
受取配当金	880	1,317
受取事務手数料	106	104
受取手数料	1,037	1,096
その他	819	1,847
営業外収益合計	2,858	4,385
営業外費用		
支払利息	1,553	1,428
その他	329	431
営業外費用合計	1,882	1,860
経常利益	196,705	136,248
税金等調整前四半期純利益	196,705	136,248
法人税、住民税及び事業税	36,419	27,592
法人税等調整額	8,046	1,449
法人税等合計	44,465	29,041
四半期純利益	152,239	107,206
親会社株主に帰属する四半期純利益	152,239	107,206

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	152,239	107,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,123	9,920
その他の包括利益合計	2,123	9,920
四半期包括利益	154,363	117,127
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	154,363	117,127
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	21,953千円	24,019千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴 施設事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
顧客との契約 から生じる収益	2,157,451	156,209	74,219	73,346	—	59,155	2,520,382	9,304	2,529,686	—	2,529,686
その他の収益	—	—	—	—	36,692	—	36,692	—	36,692	—	36,692
外部顧客への 売上高	2,157,451	156,209	74,219	73,346	36,692	59,155	2,557,075	9,304	2,566,379	—	2,566,379
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16,616	—	100,665	—	7,200	—	124,482	34,314	158,797	△158,797	—
計	2,174,068	156,209	174,884	73,346	43,892	59,155	2,681,557	43,619	2,725,176	△158,797	2,566,379
セグメント利益 又は損失（△）	229,489	8,423	27,903	4,841	12,623	3,396	286,677	△3,106	283,570	△87,841	195,729

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失（△）の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日至2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴 施設事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
顧客との契約 から生じる収益	1,908,330	153,951	57,358	93,781	—	61,678	2,275,099	8,564	2,283,664	—	2,283,664
その他の収益	—	—	—	—	36,606	—	36,606	—	36,606	—	36,606
外部顧客への 売上高	1,908,330	153,951	57,358	93,781	36,606	61,678	2,311,706	8,564	2,320,270	—	2,320,270
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	8,598	—	78,924	—	7,200	—	94,722	39,517	134,240	△134,240	—
計	1,916,928	153,951	136,282	93,781	43,806	61,678	2,406,428	48,082	2,454,511	△134,240	2,320,270
セグメント利益 又は損失(△)	191,702	2,248	9,956	18,845	12,077	△715	234,114	△2,605	231,508	△97,785	133,723

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。